

平成24年5月25日

第25回世界ガス会議クアラルンプール大会参加について

～日本ガス協会鳥原会長基調講演・ブース出展などを実施します～

一般社団法人 日本ガス協会

日本ガス協会（会長：鳥原光憲）は、第25回世界ガス会議クアラルンプール大会に下記の通り参加します。日本ガス協会会長による基調講演やブース出展などを実施します。

世界ガス会議は、国際ガス連盟（IGU）*が3年ごとに開催し、国際機関代表、各国エネルギー担当閣僚、エネルギー産業の経営トップ、エコノミスト、科学者、技術者等が参加します。ガス体エネルギーに関連する活発な議論と情報交換を目的としており、技術・環境・社会等あらゆる側面からの研究発表や、最新の技術・商品を紹介する展示会を行います。

世界ガス会議は、1931年に第1回大会がイギリスで開催されてから、80年近くの歴史を有し、エネルギーの3大国際会議（世界エネルギー会議、世界石油会議、世界ガス会議）の一つとして注目を集めています。

記

1. 開催日時： 2012年6月4日（月）～8日（金）
2. 開催場所： マレーシア・クアラルンプール・コンベンションセンター
3. 会議テーマ：“Gas: Sustaining Future Global Growth”
(ガスー未来のグローバルな成長を持続させるもの)
4. 登録者数： 約3,700名
5. 日本からの参加予定：
日本ガス協会、都市ガス事業者、その他エネルギー関連団体・企業
<基調講演>
鳥原日本ガス協会会長（6月7日 8：30～：現地時間）
講演テーマ「日本における天然ガス需要拡大に向けた取組み」
6. 日本ガス協会展示ブース（於 展示ホール8）
日本の都市ガス産業を紹介するとともに、燃料電池やスマートエネルギーネットワークを含めた天然ガスの高度利用を紹介。
7. 主催者公式ホームページ
<http://www.wgc2012.com/home.html>

*国際ガス連盟（International Gas Union：会長 Datuk Abdul Rahim Hashim マレーシアガス協会会長）

エネルギー、環境、国際協力、技術等の分野において、世界のガス産業が発展・振興することを目的として、1931年に国際非営利組織として設立された。

対象となる産業は、ガス体エネルギーに係る探鉱・採掘・貯蔵といった上流部門

から、輸送・供給、消費先での利用方法といった下流部門に至るまで、広範な領域にわたる。IGUの正会員は、国または地域を代表する団体によって構成されており、現在正会員数78、準会員数40で、日本の正会員は日本ガス協会となっている。

以上

(参考)

世界ガス会議開催実績

	第22回	第23回	第24回
開催期間	2003年 6月1日～5日	2006年 6月5日～9日	2009年 10月5日～9日
開催地	日本・ 東京	オランダ・ アムステルダム	アルゼンチン・ ブエノスアイレス
参加者数	約5200人	約3200人	約2300人
参加国・地域	73カ国・地域	80カ国・地域	80カ国・地域

*3年に1回、各国の持ち回りで開催される。第26回(2015年)はフランスで6月1日～5日に開催予定。

報道機関のお問い合わせ先

一般社団法人 日本ガス協会広報室：黒田、古山 電話：03-3502-0112